

はじめに

1. この教材は「中学校～高校」での防災授業での利用を想定しています。
2. 授業の際はできるだけ実施する学校の間取り図を使用してください。
3. 使う間取り図は「体育館」と「校舎内」があれば充分ですが、できれば「敷地全体」も含めた3種類をA3で印刷しておくのがベストです。
4. 自校の間取り図を使用する場合は、スライドをパターンBに変更し、付せんを使った指導にしてください。

災害対応トレーニング



中学・高等学校授業用(45分～90分) 避難所での避難誘導シミュレーション 編

教材内で使用する映像資料は容量や著作権の都合上、削除しています。
提供をご希望の方は下記から直接ご相談ください。
また、教材使用上のポイントやまとめ指導の方法、内容など、お気軽にお
問い合わせください。

http://kenyamiyazaki.sakura.ne.jp/blog/?page_id=260

- 災害はある日突然やってきます。
- 多くの人が、これまで**体験したことのない状況で、さまざまな意思決定を迫られること**になります。
- あなたは、一命をとりとめたとしても、被災者の一人として被災地を生き抜く必要があります。この災害対応トレーニング『サバイバル』避難誘導シミュレーション編では、**あなた自身も被災者の一人となり、そのなかで直面する葛藤、苦悩、様々な課題を体験します。**

- このトレーニングを繰り返し体験することで、災害の状況や、被災者の心情をイメージする力が身につきます。
- そして、被害を防ぐための対策や、もし災害がおきたときにも被害を大きくしないための心構えや方法について考え、行動できるようにすることをめざしています。
- これからこのトレーニングの状況設定と、進め方をご案内します。



ある休日の昼間、あなたの住む地域で大きな地震(最大震度7)が発生しました。

あなたはたまたま、自宅付近のコンビニエンスストアに買い物に行っているときに被災しました。

店内の棚は倒れ、商品が散乱していましたが、幸いお客さんも少なく、ケガをした人もいませんでした。

突然襲う地震の揺れの映像

急いで家に帰ろうとしていたら、途中で崩れたアパートがありました。1階部分が崩れてしまっています。近寄ったら、おじさんが声をかけてきました。

「家族が生き埋めになってる！助けるのを手伝ってくれ！」
すぐに向かおうとしたら、近くのおばさんに止められました。
「火事が起きているわよ！危ないから逃げなさい！」
すすで真っ黒なおばさんの顔から被害の大きさを感じました。



火災による被災の映像

以下、パターンA「別添の専用図面を使う場合」

火災の状況に注意しながら、あなたは自宅に向かいました。
幸い、自宅も家族も大丈夫でしたが、家のなかは
めちゃくちゃになっていて、電気もガスも水道も使えません。
あなたと家族は、あなたが通っていた小学校が「避難所」に
なっていることを思い出して、非常持ち出し袋をもって家族
で避難することにしました。



学校に着くと、大勢の人たちが集まっています。先生たちは、被害状況の確認や、安否確認、集まっている人への説明と忙しそうです。

知り合いの先生が、とても困っていました。
「近くの学校がもういっぱい、こちらに避難してくる人がいるけど、職員はいないし、
どんどん人は避難してくるし…」

あなたは、先生に協力を申し出ました。
「本当に！？申し訳ないけれど、手伝ってもらえると、とても助かるわ。」

たまたまいた同じ学校出身の生徒何人かと一緒に、避難者の誘導を手伝うことになりました。





先生から学校の間取り図や文房具を渡され、
「避難してきている人たちを、体育館や校舎
に誘導してね。誰をどこに誘導したか分かる
ように、この図面に付せんを使って記録して
おいてね。」と言われました。

あなたも、同じ学校の仲間も、自分たちにで
きるのかとても不安です。できれば家族のも
とに帰りたい、とも思いました。

「大丈夫、先生たちも手伝うし、少しずつや
ればいいのよ。」

それでも、自信が持てずにいたら、校庭に他校の制服を着た生徒と、中学生らしき女の子が、不安そうな顔で寄り添い、立ち尽くしているのが見えました。



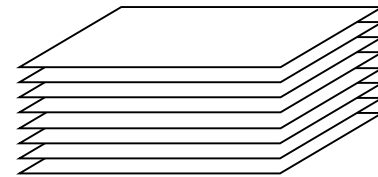
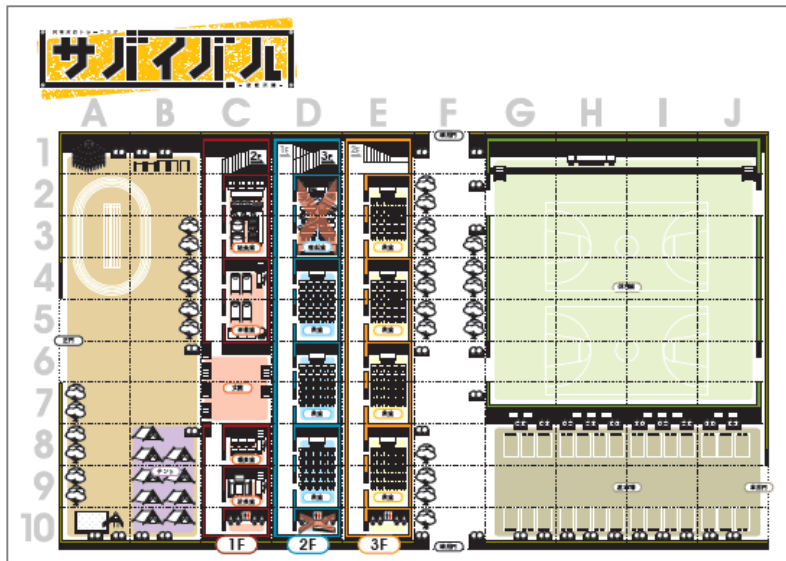
学校のことをよく知っているのは、自分たちです。困っている人のために、いまできることをやろう。そう思ったあなたたちは、学校図面と先生から渡された避難者のリストに目を向けました。

トレーニングの進め方 ①

図面シート・学校間取り図

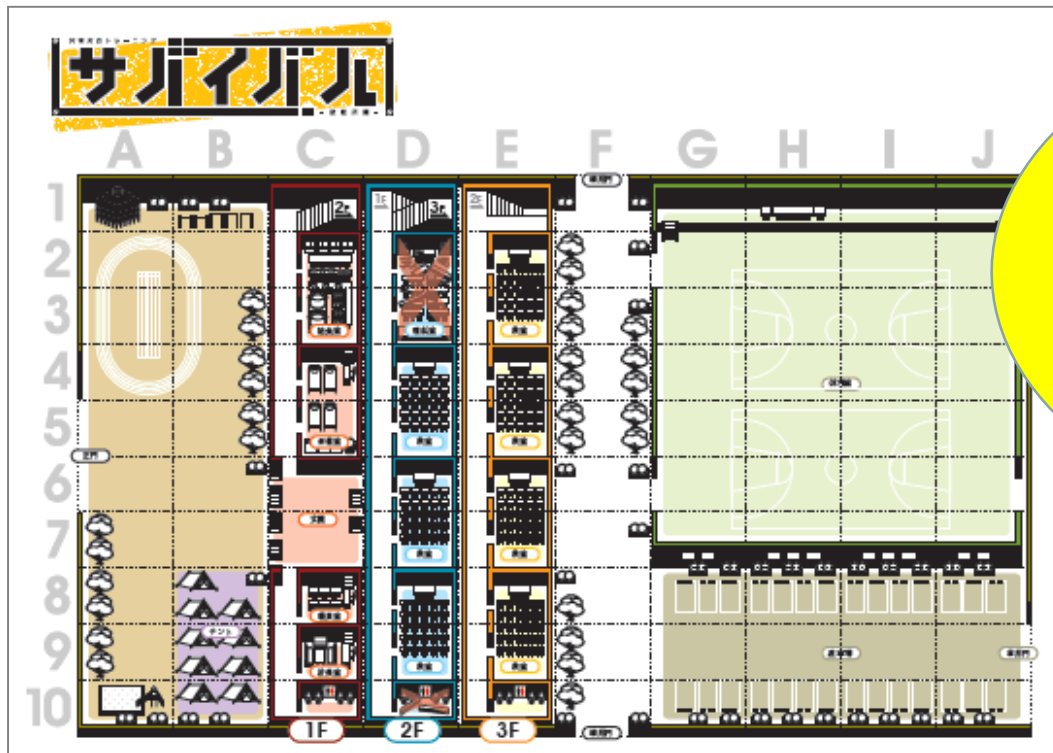
避難者リスト

筆記用具

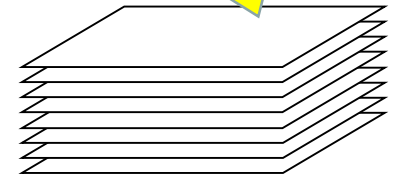


まず、各班で班長を決めてください。
班長だけが、避難者リストを見ることができます。
トレーニングが開始したら、班長は避難者リストに
書いてある番号とその内容(氏名等)を読み上げてください。

トレーニングの進め方 ②

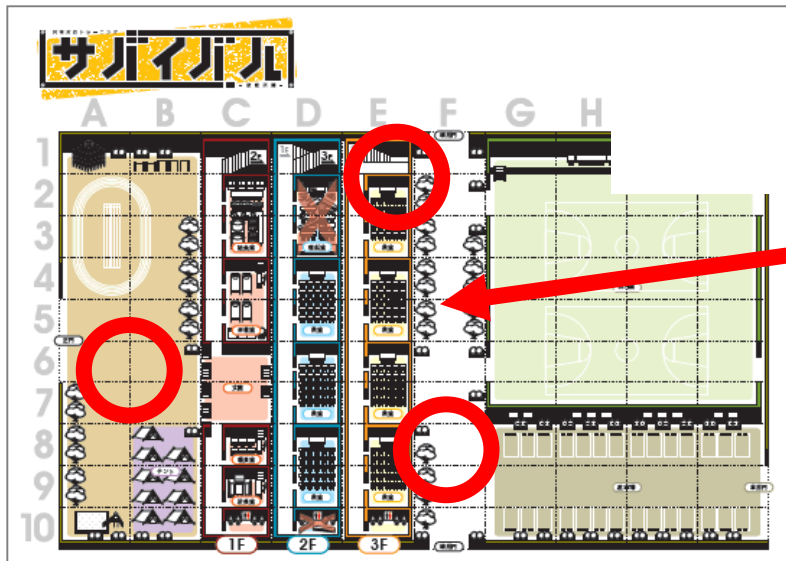


〇〇番の◆◆さん
★歳男性です。
***という
状況です。



内容を聞いたら、図面をよく見て誘導する場所を決めて、マスの中に【 〇番〇〇さん(45才.男) 】と、誰がどこにいるか分かるように書き込みます。なお、1マスの中に書けるのは（誘導できるのは）2人までです。

トレーニングの進め方 ③



体育館や校舎の
間取り図には筆記用具
でメモを書き込んだり
してもかまいません。

受付の場所や、ペットの場所など、何か決めなければいけないことがあれば、直接図面に書き込んでおきましょう。
持っている筆記用具で自由に書き込んでかまいません。

避難所にはさまざまな人がやってきます。



あなたは誰を、どこに案内しますか？

以下、パターンB「自校の図面を使う場合」

火災の状況に注意しながら、あなたは自宅に向かいました。
幸い、自宅も家族も大丈夫でしたが、家のなか
めちゃくちゃになっていて、電気もガスも水道も使えません。
「こんな状況じゃ、片付けても仕方ないね・・・どうしよう」
家族は近所の小学校へ行き、あなたはふと気になって学校へ
行ってみることにしました。



学校に着くと、今日は休日なので部活以外に生徒はいないはずが、大勢の人たちが集まっていました。

先生たちは、被害状況の確認や、安否確認、集まっている人への説明と忙しそうです。

先生たちは困り果てています。

「近くの学校がもういっぱい、こちらに避難してくる人がいるけど、職員はいないし、どんどん人は避難してくるし…」

あなたは、先生に協力を申し出ました。

「本当に！？申し訳ないけれど、手伝ってもらえると、とても助かるわ。」

たまたまいた学校の生徒何人かと一緒に、避難者の避難誘導を手伝うことになりました。



初期避難の映像



それでも、自信が持てずにいたら、校庭に近所の高校の制服を着た生徒と、中学生らしき女の子が、不安そうな顔で寄り添い、立ち尽くしているのが見えました。



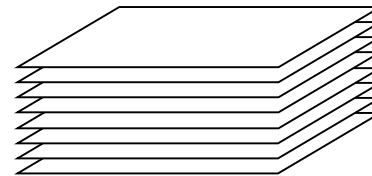
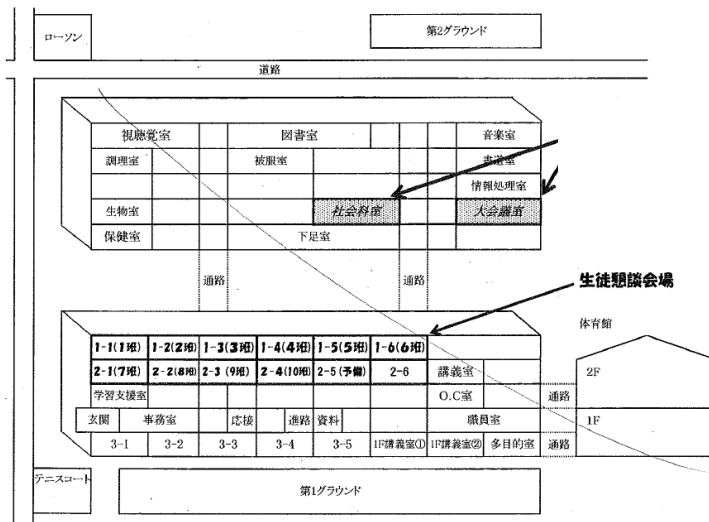
学校のことをよく知っているのは、自分たちです。困っている人のために、いまできることをやろう。そう思ったあなたたちは、学校図面と先生から渡された避難者のリストに目を向けました。

トレーニングの進め方 ①

図面シート・学校間取り図

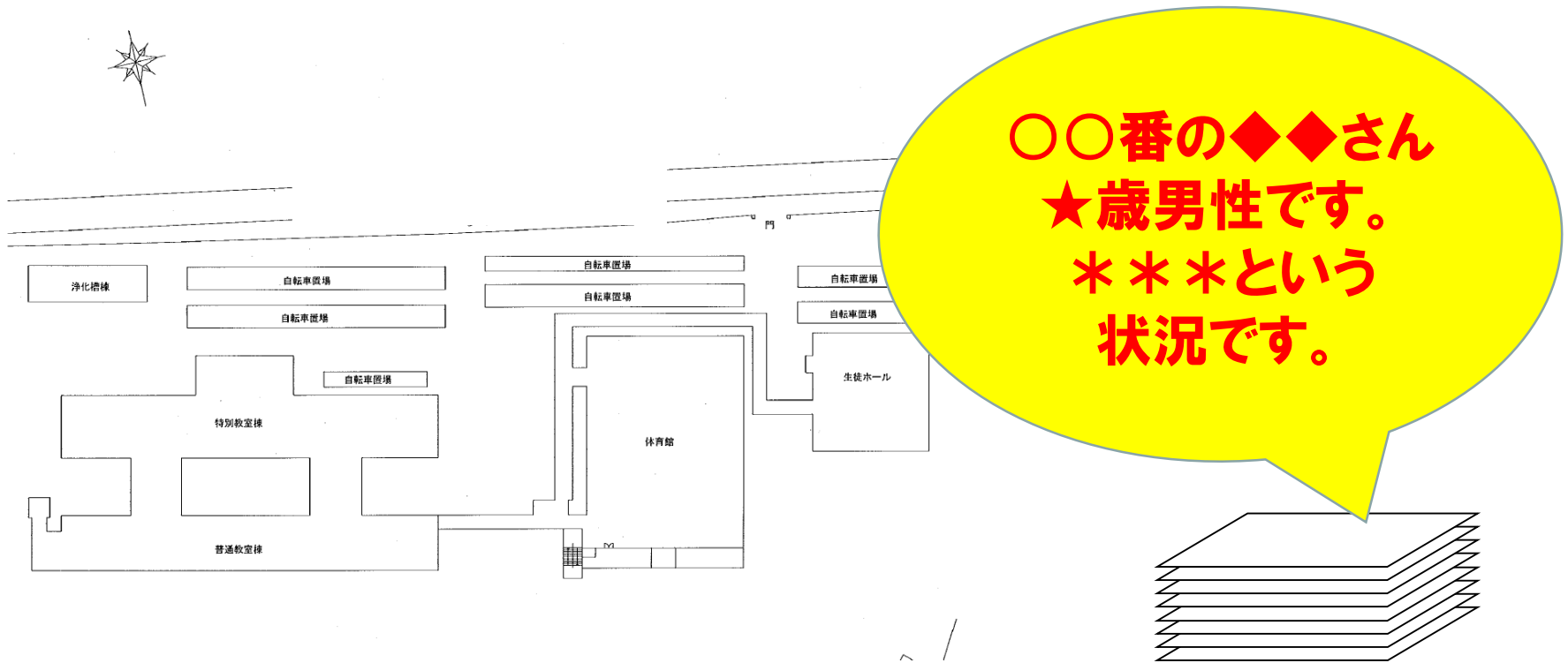
避難者リスト

筆記用具



まず、各班で班長を決めてください。
班長だけが、避難者リストを見ることができます。
トレーニングが開始したら、班長は避難者リストに
書いてある番号とその内容(氏名等)を読み上げてください。

トレーニングの進め方 ②



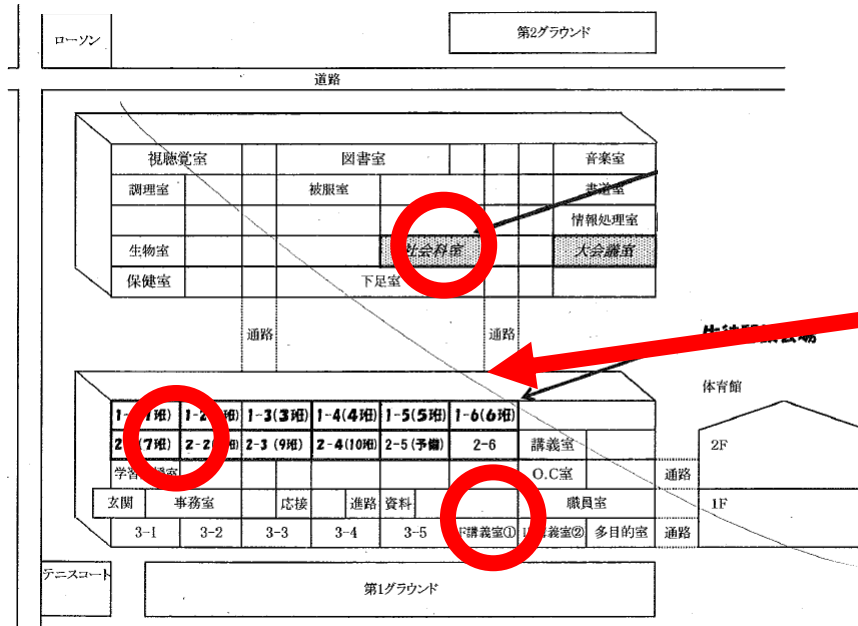
内容を聞いたら、校舎全体の間取り図を見て

・体育館がいいか ・校舎内がいいか などを考えます。

体育館の場合は「体育館間取り図」にポストイットで

「〇〇番◆◆さん(★才男性)」と書いて、貼り付けます。

トレーニングの進め方 ③



体育館や校舎の間取り図には筆記用具でメモを書き込んだりしてもかまいません。

校舎内の場合は「校舎見取り図」を参考にして、使う教室などを決めます。使う教室を決めたら、A4の白紙（5枚が各班に配られています）に大きく教室名を書いて、付せんを貼り付けます。1班で使える教室は「5教室（特別教室含む）」までです。

避難所にはさまざまな人がやってきます。



あなたは誰を、どこに案内しますか？

学校用避難所運営シミュレーション型教材

振り返りの時間

- 自分たちが避難誘導した結果を振り返ってみましょう。実際の場面でも、同じように対応できるでしょうか。
- どんな人への対応が難しかったでしょうか。
- 事前にどんな備えをしておくとよいでしょうか。

学校用避難所運営シミュレーション型教材

まとめ

- ・避難所運営は「助け合い」が基本精神、自分でできることは自分でやろう。
- ・自分でやりたくても、できない人もいます。
困っている人がいたら、積極的に手伝おう。
- ・トイレのことやペットのことなど難しい問題は、「事前の備え」と「ルール作り」が重要です。
- ・心と身体の健康に、気をつけて生活しよう。

災害対応トレーニング



中学・高等学校授業用(45分～90分) 避難所での避難誘導シミュレーション 編

教材内で使用する映像資料は容量や著作権の都合上、削除しています。
提供をご希望の方は下記から直接ご相談ください。
また、教材使用上のポイントやまとめ指導の方法、内容など、お気軽にお
問い合わせください。

http://kenyamiyazaki.sakura.ne.jp/blog/?page_id=260